

デカタングステン酸塩光触媒を用いた脂肪族アンモニウム塩のC(sp^3)-Hアルキル化の開発と脱アシル化への応用

宋, 済舟

<https://hdl.handle.net/2324/7182507>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (理学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	宋 済舟			
論 文 名	デカタングステン酸塩光触媒を用いた脂肪族アンモニウム塩の C(sp ³)-H アルキル化の開発と脱アシル化への応用			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	國信 洋一郎
	副 査	九州大学	教授	新藤 充
	副 査	九州大学	教授	平井 剛

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、デカタングステン酸塩光触媒を用いたバリン誘導体のアンモニウム塩の位置選択的な C(sp³)-H アルキル化、および脂肪族アンモニウム塩の C(sp³)-H アルキル化に基づく選択的脱アシル化の開発に関するものであり、有機合成化学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（理学）の学位論文に値するものと認める。